

九州大学百周年記念 第53回貴重文物展示を開催しました

5月12日、および5月16-22日に、開学百周年記念行事の一環として、貴重文物展示「九州大学百年の宝物」を開催しました。百年の歴史を象徴する多数の貴重資料を展示し、775名もの来場がありました。会期中は、会場内で九州大学の教員が資料を詳しく解説する「ギャラリートーク」がおこなわれ、来場者は資料にまつわる多彩なエピソードに耳を傾けていました。



リフレッシュルーム 新規購読雑誌のお知らせ【中央図書館】

購読タイトルの見直しにより、以下の雑誌が新たにご利用いただけるようになりました。NO!!!/教員養成セミナー/トランジット/Pen/日経ビジネス/週刊新潮/留学ジャーナル/中国語ジャーナル/九州のムラへ行こう

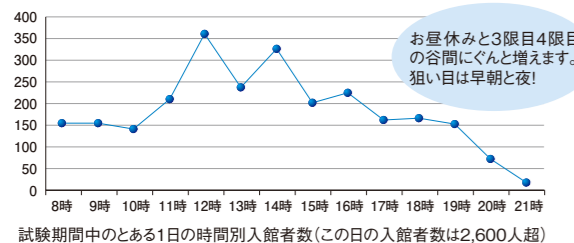
自動書庫認証出庫サービス試行中【伊都図書館】

自動書庫に格納している図書や雑誌を利用する場合に、MyLibraryを通じて研究室や自宅から事前に申込できるサービスを試行しています。出庫手続きを行ってから図書館で資料を手にするまでの待ち時間を大幅に短縮できます。サービス対象：九州大学に在籍する学生、教職員で、原則として伊都地区内の部局に籍を持つ方 サービス時間：平日の9～17時(休館日を除く) 利用冊数：1日10冊まで ※事前に利用申請の手続きが必要です。 <問合せ>伊都図書館利用サービス係: ito_riyo@lib.kyushu-u.ac.jp

前期試験を突破せよ!

周りの人が頑張っているのを見ると自分も頑張れる。本腰を入れて勉強する時は図書館に来るといふ人も多いのでは? 試験期の図書館あれこれを集めてみました。試験を乗り越えれば夏休み。みんな頑張ろう!

座席争奪戦?! 緊張感漂う試験期の閲覧室。日中は満席に近く座席も取り合い! そこで中央図書館のとある1日の入館者数の推移を調べてみました。



図書館へピーユーザーに聞く、ココが穴場! ・伊都の地下の閲覧室(冬はあったかい) ・中央図書館の書庫の机 ・新聞閲覧室

レポートどうしよう(・_・) そんなあなたにオススメの図書

新編 大学生のためのレポート・論文術 小笠原喜康 著 講談社 (2009) 一枚に何文字書いたらいいのか、縦書きと横書きどちらがいいのかなど、非常に細かいところまで教えてくれる、指図書というよりマニュアル。必要な文献の探し方も抜かりなく教えてくれるので、まさにレポートと卒論執筆のための傾向と対策本です。レポート課題が出る前に、まず読んでおきたい本です。

論文の教室/戸田山和久著 日本放送出版協会 (2002) 2002年刊行以来、何度も増刷を重ねているベストセラー本です。論文(レポート)とは何か、どう書けばいいのかというところを、「作文ヘタ夫くんという学生と共に学んでいく構成。大学での学びとはどういうものかを知る上でも、ぜひ読んでおきたい本です。上級生も、卒論に取りかかる前に復習として読み返すのもよいでしょう。

試験期間開館時間延長 【伊都図書館】7/17～8/3は平日夜10時まで開館 平日▶9:00～22:00(※通常21:00まで) 土日祝日▶10:00～18:00 【中央図書館】7/21・22・28・29の土日は夜8時まで【試行】 平日▶8:00～22:00 土日祝日▶10:00～20:00(※通常18:00まで) 【芸術工学図書館】7/29、8/5は日曜開館 平日▶8:30～21:00 土日祝日▶10:00～17:00(※通常日曜日閉館) ※医学・建築・文系合同図書室は通常どおり

館内教育情報端末(iMac) 閲覧席以上に熾烈な争奪戦が繰り広げられるのがiMac席です。

学内端末の利用状況 このサイトでチェック。リアルタイムで分かります。「教育情報システム教室利用状況」 http://www.s.kyushu-u.ac.jp/cgi-bin/term.cgi 講義で使用中等制約はあるものの、箱崎なら情報基盤研究開発センター、伊都ならセンター1号館が比較的空いていることが多いです。

iPad館内貸出サービス 各キャンパスの図書館(室)でiPadの貸出をしています。インターネット閲覧が主ならこちらをどうぞ。Office系ファイルの閲覧・簡単な編集ができるアプリも入っているのでdropboxやevernoteと組み合わせて活用してくださいね。ご利用は学生証を持ってカウンターへ。

お願い 特に試験期は座席の占有(カバンだけ置きっぱなし)、勉強と関係のない利用などはご遠慮ください。

Cute.Supporters section featuring cute animal illustrations and profiles of staff members: 顧曉晴 (Economics), 中国晴貴 (Psychology), 平原 豪人 (Mechanical Engineering), 石塚 友里絵 (Food Chemistry), 恵村 奈都美 (Literature), and 名前 (Library Support). Includes a QR code and a note about the mascot Cuter.

みなさん、こんにちは!! 九州大学中央図書館で学習サポートを行う学生5人組、Cute.Supportersです!! ちょっと長いので自分たちではCuterと名乗ってません。覚えやすい方どうぞ。Cuterは今年の3月から活動を始めました。活動は主に箱崎の中央図書館レファレンスカウンターにて行っています。活動内容はレファレンスカウンターでの学習相談や図書の検索補助、情報サロンのPCトラブルへの対応です。4～5月には新入生図書館活用セミナーのサポート(新入生の皆さん!! Cuterを覚えてくれていますか??)も行いました。これからは Cuter 発の企画もやりたいと思っています。 URL: http://guides.lib.kyushu-u.ac.jp/Cuter

図書館員のおしゃべりコラム

図書館とは無縁の学生生活を送り、レポートも適当にしか書いてこなかった私は、卒論提出1ヶ月前になってもまだ、参考文献の1点も集められず1文字も書けなっていました。そんな崖っぷちの私を卒業まで無事導いてくれたのが、通っていた大学の図書館と国立国会図書館でした。レファレンスカウンターの方々で資料の探し方や入手方法を丁寧に教えてくれたおかげで、卒論も無事完成しただけでなく、生まれて初めて学ぶ楽しさも知ることができました。そしてそのまま図書館職員になる道を選びました。 そんな私もこの4月から、そのレファレンスカウンターに座って、利用者の皆さんからの資料の探し方やデータベースの使い方の相談に応える立場になりました。また、現役学生である図書館学習サポーター(Cuter)さんたちと一緒に、皆さんに図書館を使ってもらうにはどうしたらよいかを考え中です。レポートや課題、発表などで困ったとき、図書館は皆さんをサポートする設備・資料がそろっていますので、ぜひ気軽に利用・相談して下さいね! (中央図書館 eリソースサポート係 工藤絵理子)



きゅうとNEWSLETTER Vol.7, no.2(2012.7)



図書館学習始動! サポーター始動! Cute.Supporters

一緒にデザインしませんか? あなたの図書館ライフ

発行:九州大学附属図書館 TEL 092-642-2533 URL http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/



雑誌がなくても大丈夫

CONTENTS

- つなぐ「蔵書はこころを映すもの」 医学図書館長 吉田 真一
資料紹介「～九大百年の知を象徴する～医学図書館『貴重古医書コレクション』」
自著紹介
NEWS
図書館で前期試験を突破せよ!
Cute.Supporters
図書館員のおしゃべりコラム



蔵書はこころを映すもの

医学図書館長 吉田 眞一
(医学研究院細菌学分野 教授)



これまで図書館の蔵書を見ていちばん驚いたのは留学していたオランダのライデン大学の日本語学部の図書館だ。そこには大正大蔵経が全冊そろっていた。碧眼の賢人には大乘仏教の重要さがわかっているのだ。

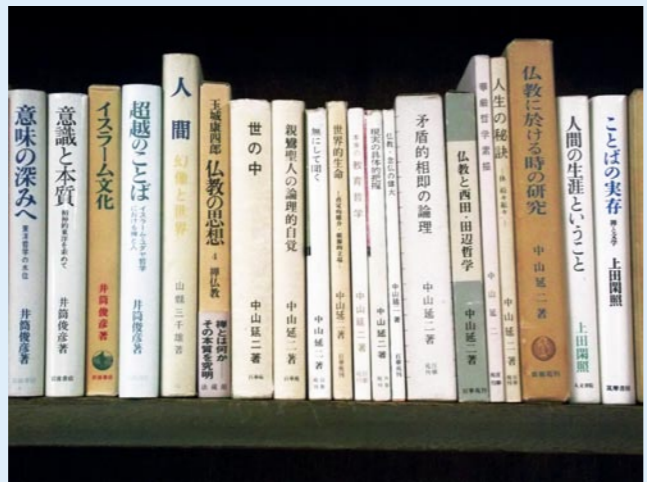
大学図書館には大学の歴史や研究と共に歩んできたゆえの個性がある。医学図書館には医学関連の多くの貴重本が所蔵されている。医学部細菌学教室の図書室には初代教授小川政修先生がヨーロッパ留学中に収集された医学史中心の貴重なコレクションがあり、現在は医学

図書館展示室に移され『小川政修文庫』となっている。

一方で、公的図書館は網羅的な蔵書を要求され、IT化が進み、本を借りて読む場所という機能が低下しているなど、機能の没個性化が進行している。わたしはこれからの公的図書館には蔵書のさらなる個性化が必要だと思っている。だから、医学図書館に、もうひとつの顔をつくりたいと密かに願望している。そのためには個性的なコーナーを設けることだ。館員の努力で、九大医系キャンパス教員・元教員の著作物コーナーが設けられた。次は九大医系キャンパス出身の文学者・作家のコーナーを設けてはどうかと思っている。個人の蔵書には個性がある。医学図書館も新しい特徴を持つよう努力が必要だろう。蔵書はこころを映すもの、読書はこころを耕すもの。世界は広く、真理は深い。

蔵書が見事なのは産業医科大学の哲学の本多正昭教授の部屋であった。そこには古今東西の宗教、哲学、思想の、全集、著作、辞書が並んでおり先生の学問と求道のあとがたどれ、学友や道友との関係を彷彿とさせた。

私の場合はイスラムも含めた東洋の哲学、思想、宗教関係の本が多いのが特徴であろうか。特に東洋哲学、中でも仏教に関するもの、禅や親鸞に関するものだろうか。私の部屋を訪ねてこられる来客は多いが、残念ながら多くの訪問客が用事を済ませて、お邪魔したことを謝るようにしてそそくさと出て行かれる。しかし中には私の蔵書についての話が弾み交友が深まることある。特に学生さんには時間がたっぷりある。『矛盾的相即の論理』（中山延二著）が目飛び込んできたとあって借りて帰り、その後中山延二氏の全著作を読んだという精神科の大学院生。「最近親鸞に惹かれているんです」と言いながら和辻哲郎の『原始佛教の実践哲学』を借りていく医学生など。細菌学が専門なのにどうして哲学の本が多いのかと驚いた医学生はそのあと、月1回の私の勉強会に来てくれるようになって現在6年目である。学生さんに推薦する本は、西田幾多郎、中山延二、井筒俊彦、上田閑照先生らの著作である。



吉田先生の本棚

資料紹介

～九大百年の知を象徴する～ 医学図書館「貴重古医書コレクション」

歴代医学部教授の広い視野と高い見識で

九大百年の歴史は、京都帝国大学福岡医科大学が九州帝国大学医科大学となることから始まります。当時の教授陣には、ベースメーカーの父とされる田原淳、日本住血吸虫の中間宿主であるミヤイリガイを発見した宮入慶之助、耳鼻咽喉科学の先駆、久保猪之吉など、錚々たる人物が名を連ねていました。医学図書館に所蔵する貴重古医書コレクションは、彼らをはじめとする歴代医学部教授たちが、医学の発展史に強い関心を寄せ、広い視野と高い見識に基づき収集した資料を基礎とします。第三内科初代教授小野寺直助先生のもとで収集された多数の医書類や眼科学教室・解剖学教室収集の古医書などが保存図書館から発掘され、一大コレクションを形成することとなりました。まさに九大百年の知を象徴する国内最高水準のコレクションです。

医学史のみならず

和漢書7133点、洋書1555点からなる本コレクションは、日・中・欧の医学の歴史のみならず、交流史や文化史・美術史の研究にも豊富な資料を提供してくれます。

江戸・明治初期の和書には数多くの写本が含まれ、17・18世紀における蘭学の誕生と普及の解明において極めて重要な書も少なくありません。漢籍についても国内唯一の希少なものがあり、専門家から高い評価を受けています。また、洋書のほとんどは16世紀から19世紀にかけて出版された刊本であり、歴史上重要な書物の初版本も含まれています。



「身体」を解き明かした革命的な書

ヴェザリウス『人間の身体の構造』（1555）
アンドレアス・ヴェザリウス（Andreas Vesalius, 1514-1564）は、中世ヨーロッパの伝統的な身体観を根本から覆し、自らの手で人体の解剖を行いそれを精密に描写することで、身体の構造を解き明かしていった。本書は当時の人体解剖学における最も正確な挿し絵と、最も包括的な解説とを誇る「革命的」な書であり、18世紀まで世界各地に大きな影響を及ぼした。精細な口絵の木版画は美術史においても重要なものである。しかし当時の権威ある学者たちはそれまでの通説を覆すヴェザリウスを激しく攻撃し、認めようとはしなかった。様々な攻撃にあい打ちひしがれたヴェザリウスは、自分の手稿の大部分を火に投じってしまったという。

シーボルトに描かれた

『NIPPON』は、シーボルト（在日期間1823～1829）が日本での調査をもとに、日本の地理・歴史・経済・文化などを詳しく紹介した学術書で、1832年から約20年間にわたりオランダのライデンで出版された。本コレクションのものは、大正15（1926）年に3000円で法医学教室で購入された初版本で、しかも未製本であることから、出版当時の様子そのままに現在に伝えている。世界的にも数少ない極めて貴重な史料である。テキスト編と図版編からなり、図版には丹念な観察に基づいた精細な図が多く描かれ、研究者でなくとも非常に興味深い。図版は、「力士」を紹介するもの。



日本に広まったヨーロッパの外科術

西洋の縫い方を伝える江戸時代の写本『和蘭金庫 附諸國物師語』

長崎の出島オランダ商館の医師らにより、日蘭医学交流が17世紀半ば本格化し、18世紀に入り総合的な蘭学へと成長していった。ドイツ人植物・医学者ハイステルによって発達した外科学は蘭訳書を通じ日本へも伝わり、受容されていった。特に創傷の治療は注目を集め、縫合法などを紹介した書物も多い。



全貌はWebから

本コレクションの研究を続けてこられた本学のWolfgang Michel名誉教授の手により、コレクションの総目録をWebで検索できるほか、画像データベースとして図版を高精細な画像で見られるものもあります。ただ眺めるだけでも大変楽しめる図版が数多く収録されていますので、覗いてみてください。

【貴重古医書コレクション】
http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/hp_df/igaku/index_jp.html

【古医書画像データベース】
http://www.lib.kyushu-u.ac.jp/icomb/public_html/



自著紹介

本学教員より寄贈いただいた著作です。ぜひ読んでみてください。



九州大学病院 医師 菊池 良和
『ボクは吃音ドクターです』 菊池良和著
ISBN：9784620320366 毎日新聞社 2011



吃音のある医師の私が、初めて書いたエッセイです。すらすら言葉が話せない吃音があることは、恥ずかしく、劣等感を生み、誰にも相談できませんでした。13歳の頃に思いついた夢「医師になれば、この悩みから救われるのでは」、その夢を叶えるために猛勉強して、現在九州大学耳鼻咽喉科の医師として働いています。誰にでも人には言えない悩みを抱えていると思います。私の吃音を、それぞれの悩み置き換えても通じるところがきっとあると思います。ぜひ多くの方に読んでいただきたいです。

【所蔵館:医学】

言語文化研究院 教授 福元 圭太
『IT基本用語辞典 独－日－英』 鈴木敦典、保坂靖人、成田克史、福元圭太編著
ISBN：97848110202342 同学社 2012



本書は、コンピュータを核とするIT関連用語2014語を見出し語とし、その日本語訳、解説、関連語などを示した小辞典である。巻末に英語および日本語索引を付し、そこからドイツ語を検索できるようにした。

本書のもとなった原稿は、2008年に45歳で他界した鈴木敦典氏（当時九州大学）が遺したものである。氏は文学研究の傍ら、データベースを用いたドイツ語語彙研究等を行った。また『アポロン独和辞典』（同学社）の編纂にも参画し、その才能をいかんなく発揮した。本書は、自らの研究と辞書編纂のノウハウが合体した。鈴木氏の特長をもっとよく表す業績である。

【所蔵館:中央/伊都】

『ドイツ語 不定詞・分詞』 福元圭太、嶋崎啓吾
ISBN：9784475009270 大学書林 2012



本書は、ドイツ語の不定詞と分詞のみに特化した、中・上級者用の参考書である。ドイツ語の一般的な教科書で不定詞を詳しく説明するものはあまり多くない。また分詞に至っては一つの学習項目として扱わないことも珍しくない。ところがドイツ語の実際の文章にあたってみると、この二つは随所に現れるだけでなく、その理解が文全体の理解の要になることもしばしばである。ドイツ語の中・上級学習者のみならず、すでに教壇に立たれ、ドイツ語を教授されている方々にも本書をご利用いただければ幸いです。なお不定詞は福元が、分詞は嶋崎が執筆を担当した。

【所蔵館:中央/伊都】

このほか、以下の著作をご寄贈いただきました。

名誉教授（医学部）天児 和暢
『細菌の電子顕微鏡図譜』ISBN:4525162112 天児和暢著
南山堂 1983 【所蔵館:伊都/医学】

『写真で語る細菌学』ISBN:4873785286 天児和暢著
九州大学出版会 2004 【所蔵館:中央/伊都/医学】

『戸田新細菌学』ISBN:452516011X 天児和暢、南嶋洋一編
南山堂 1997 【所蔵館:中央/医学】

工学研究院 准教授 外井 哲志
『まちおこし・ひとつづくり・地域づくり－九州の取り組み20選－』
地域活性化研究グループ著 外井哲志、堤昌文編
ISBN：9784434154485 権敬書房 2011



本書は、高齢化、人口減少が進行し様々な問題を抱える九州各地で、地域活性化に向けて行われている活動・調査に関する20の事例を3章に分けて整理したものである。具体的には、第1章で、観光(温泉、都市・歴史)、ブランド、学生・大学などの地域資源を活かしたまちづくりの事例、第2章で、住民自らが参画しながら身の回りの生活空間を作り上げていく活動の事例分析、第3章で、路線バス運行の無い地域の公共交通の在り方、九州に多い斜面市街地で運行されているジャンボタクシーによる「おでかけ交通」の事例の報告となっている。

【所蔵館:伊都】

芸術工学研究院 教授 河辺 哲次
『ベーシック 電磁気学』 河辺哲次著
ISBN：9784785322373 裳華房 2011



私たちは、現代社会のなかで電気や磁気の恩恵をたくさん受けています。電子レンジや携帯電話の便利さは教わらなくても分かります。でも、その仕組みは教わらないと分かりません。

このような電磁気現象の基礎をなす学問が「電磁気学」です。「電磁気学」は、「力学」のような「目に見える」現象が少ないので、直観的に理解するのは難しく、修得するのも大変です。また、電磁気学の内容は多岐にわたるため、なんど勉強しても、なかなか分かった気分にはなりません。

しかし、電磁気学は本質的に、「特殊相対性理論」や現代のゲーゼ場の世界観のルーツなので、その深遠さや不思議さは、知的ロマンをかき立てます。本書は、電磁気学の全体像がすんなりと展望できるように、自由空間（真空）内の電磁気現象に話をしぼりました。さらに、電磁気学の諸法則・方程式が容易に理解できるように、微分形式を避けて積分形式で記述しました。本書は、理工系学部での基礎教育レベルのテキストです。拙著が、学生さんたちを「電磁気学」の知的ロマンにいざなうきっかけとなれば、幸いです。

【所蔵館:中央/伊都/芸工/筑紫】

著書を図書館にご寄贈ください

図書館では、本学教員の著作を収集・提供するとともに、交流協定校であるソウル大学校との資料交換をおこなっています。著書を上梓された際は、ぜひ図書館へ寄贈ください。

担当: 附属図書館資料整備室 図書受入係
Tel:092-642-2327 Fax:092-642-2347
E-Mail: tosho1@lib.kyushu-u.ac.jp

『微生物学』ISBN:4260352628 天児和暢、南嶋洋一編
医学書院 2003 【所蔵館:伊都/医学】

『細菌学の歴史』ISBN:4260700529 William Bulloch著;天児和暢訳
医学書院 2005 【所蔵館:伊都/医学】

『レーベンフックの手紙』ISBN:4873788072 [レーベンフック原著];Clifford Dobel著;天児和暢訳
九州大学出版会 2004 【所蔵館:伊都/医学】